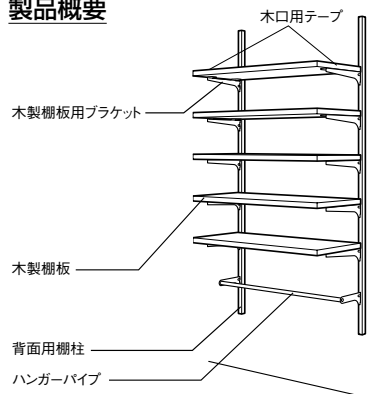


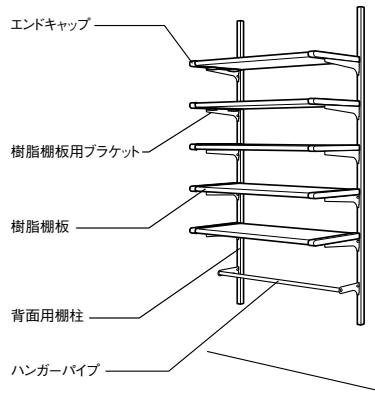
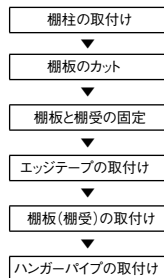
クローク収納
内部ユニット FiTIO(フィティオ) 背面棚柱タイプ

施工方法／寸法図

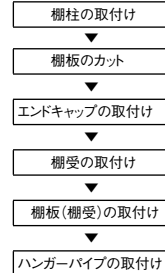
製品概要



施工の流れ



施工の流れ



施工寸法

■施工可能寸法範囲

(単位: mm)

W1 (棚柱ピッチ)	W2	W3 (棚板幅)
900以下	2~50 (左右均等)	W1+(W2×2)

※指定の寸法を超過して、棚板を取付けることはできません。

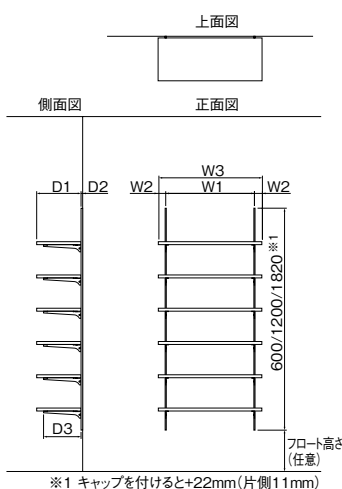
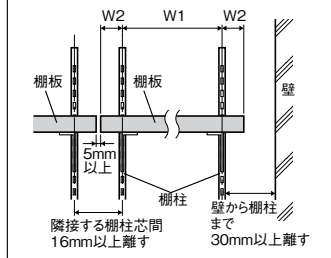
	樹脂棚板	木製棚板
棚板間の最小間隔	80	84

■棚板の最大設置個数

高さ	樹脂棚板	木製棚板
H600	4枚	3枚
H1200	9枚	8枚
H1820	14枚	12枚

棚板幅と棚板の取付位置について

棚柱や棚板を下図のように離してください。



ご注意) ハンガーパイプはカットできません。

■カットフリー棚板カットの可能範囲について

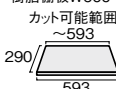
現場でカットできる棚板です。幅にあわせてカット加工ができます。フリープランなどに対応できます。

樹脂棚板カット可能範囲

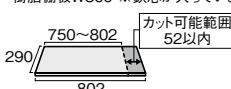
ご注意

- ・W750※/W800※/W900※
棚板内部に補強用に鉄芯が入っています。鉄芯は左右に動きますので、現場でカットされる場合は、鉄芯が切断されない位置までずらしてカットしてください。
- ・樹脂棚板は、棚柱芯間隔(W1)幅寸法-8mmにカットしてください。

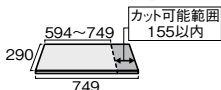
樹脂棚板W600



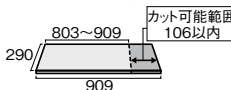
樹脂棚板W800 ※鉄芯が入っています。



樹脂棚板W750 ※鉄芯が入っています。



樹脂棚板W900 ※鉄芯が入っています。

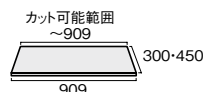


木製棚板カット可能範囲

ご注意

- ・お好きな寸法にカットできます。カットした面には木口テープ(別売品)を貼ってください。

木製棚板W900



施工条件

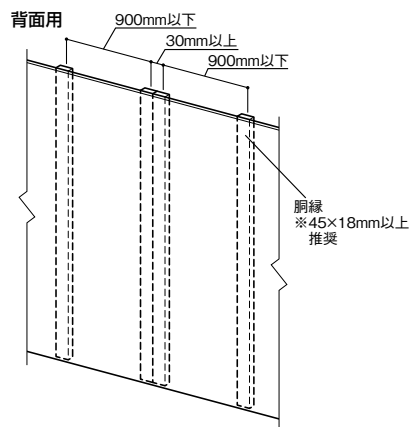
■取付け用下地の確認

※内装仕上げの下地材には、合板12mm厚以上が適しています。

石こうボードや合板5.5mm厚など、ビス保持力が弱い仕上げ材を使用される場合、図のように壁内に胴縁を設置、または胴縁の有無を確認してください。

(胴縁がない場合、施工できません)

※図は、石こうボードや合板5.5mm厚の場合です。

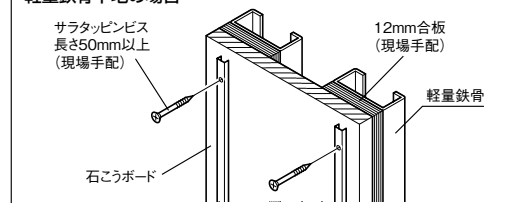


■壁下地の条件を確認

木下地	○
軽量鉄骨下地	○※1

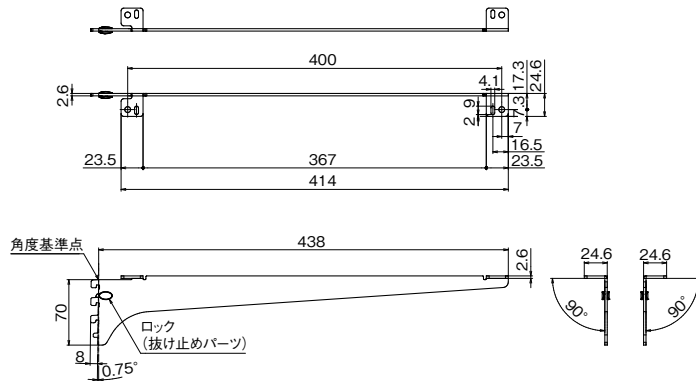
※1 軽量鉄骨下地の場合には、別途、12mm合板、サラタピンビス長さ50mm以上を現場手配してください。

軽量鉄骨下地の場合

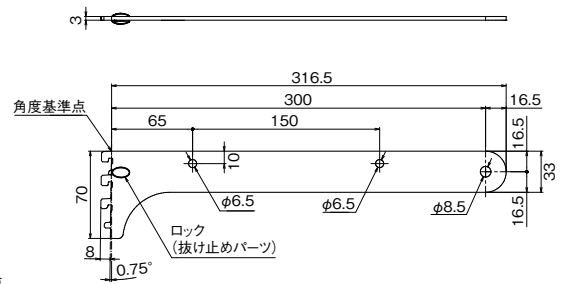


注) 上記以外の詳細につきましては、施工説明書にて必ずご確認ください。

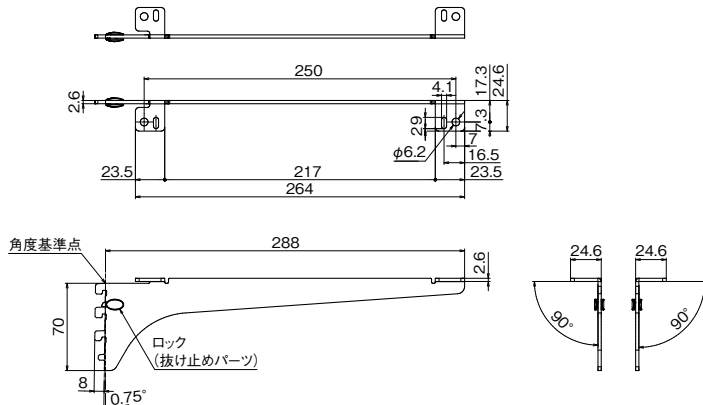
木製棚板用ブラケット



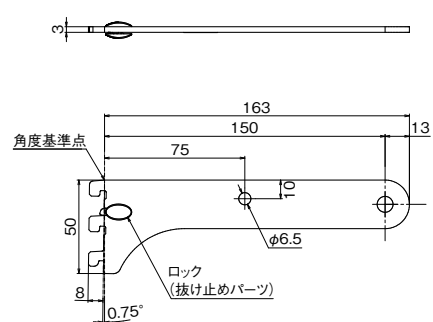
パイプ用ブラケット



木製/樹脂棚板用ブラケット

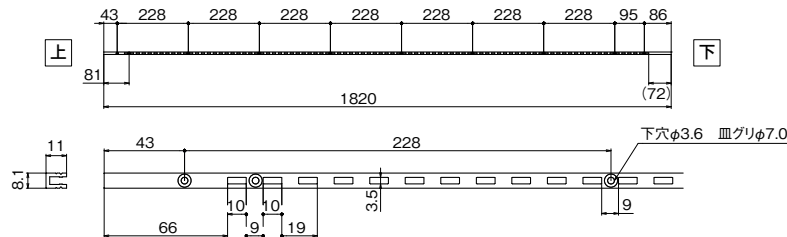


パイプ用ブラケット(ブーツハンガー用)

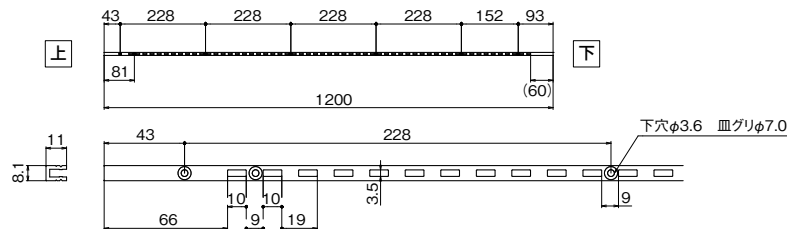


※樹脂棚板は、樹脂キャップと合わせて使用します。

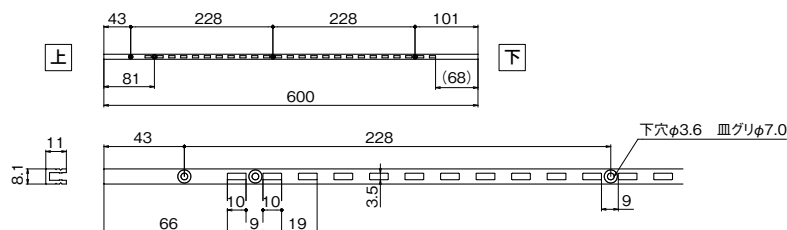
棚柱1820



棚柱1200



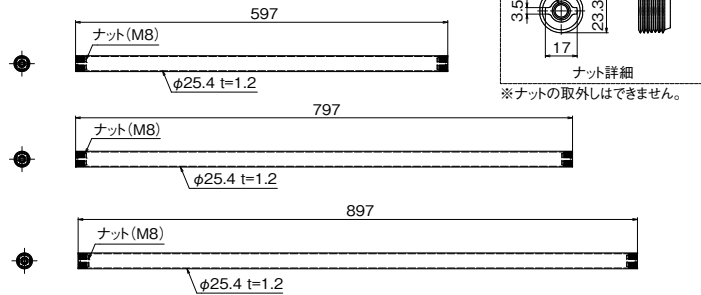
棚柱600



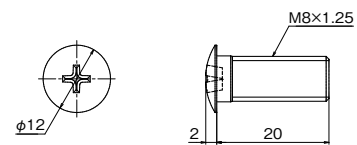
クローク収納
内部ユニット FiTIO(フィティオ) 背面棚柱タイプ

寸法図

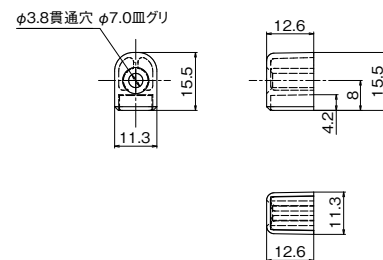
φ25パイプ(カット不可)



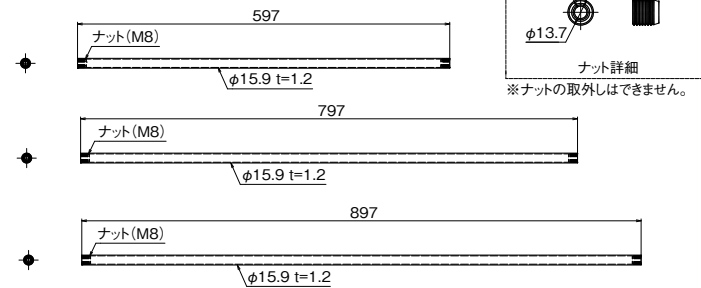
パイプ固定用ビス



棚柱用キャップ

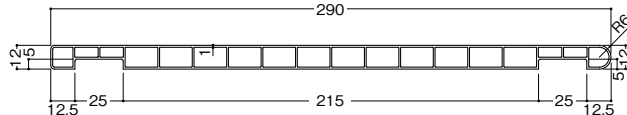


φ16パイプ(ブーツハンガー用)(カット不可)

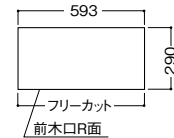


樹脂棚板

樹脂棚板 D300用



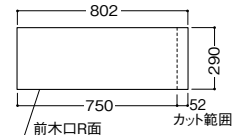
樹脂棚板 W600



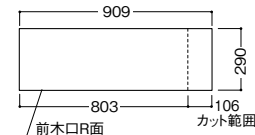
樹脂棚板 W750(鉄芯入り)



樹脂棚板 W800(鉄芯入り)

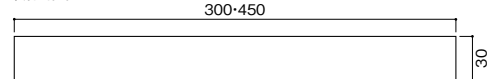


樹脂棚板 W900(鉄芯入り)

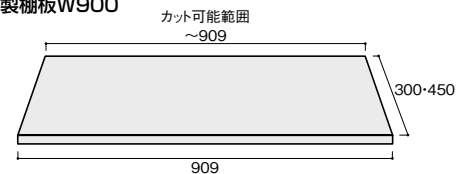


木製棚板

断面図



木製棚板W900



樹脂棚板用樹脂キャップ

